

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	設	あいかわ公園
指定管理者	者	財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団
指定期間		H21.4.1 ~ H26.3.31
施設所管課		都市公園課 (厚木土木事務所)

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

A

<判定理由>

公園の魅力向上のため、行き届いた植物管理と施設管理を行い、愛川町や宮ヶ瀬湖周辺拠点施設と連携した取組みを積極的に進めるなど提案を上回る取組みを実施し、広報活動や魅力的な施設作りに積極的に取り組んだ。また、今期は天候等の影響で利用者数が前年より減少したが、運営努力により公園の満足度が高く、リピーターが多いこと、提案を上回る取組みを実施しつつも、良好な収支状況であること、苦情・要望等の対応状況も良好なことからA判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月28日	○	○	○	無	
5月	6月10日	6月25日	○	○	○	無	
6月	7月10日	7月27日	○	○	○	無	
7月	8月10日	8月31日	○	○	○	無	
8月	9月10日	9月28日	○	○	○	無	
9月	10月10日	10月22日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	植物管理及び環境に配慮した管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がいつ来園しても気持ちよく過ごせる環境を作ることを目指し、公園のシンボルである「花の斜面」は常にレベルの高い維持管理を行い、花壇は定期的に植栽を変更する工夫をしており、園内の除草も高頻度で行っている。 ・プランターの花は、一定期間が経過したものでも廃棄せず、毎月「花の日」のイベント時に利用者へ無料で配布しており、環境配慮のアピールと利用者の再訪を促している。 ・植物管理で発生した刈草や剪定枝は堆肥化して公園の植物管理に利用している。 ・夏期の電力需要への対策として、利用者サービスが低下しないよう配慮しながら節電を行った。この結果、7月～9月の電力使用量の平均は、23年度比で15%以上の節減が図られている。

	提案内容	実施状況
2	<p>利用促進方策</p> <p>①つつじまつりの開催</p> <p>②工芸工房村・愛川町郷土資料館20万人達成記念イベント開催</p>	<p>①4月29日(日)、来園者：25,000人 昨年は震災で中止となった「つつじまつり」を開催した。今回はあいかわ公園開園10周年記念としてスタンプラリー、パネル展、花の無料配布を実施し、盛況だった。</p> <p>②6月24日(日)、来園者：860人 愛川町郷土資料館と工芸工房村の入館者数が20万人を達成したことから、記念イベントを開催した。地元団体による太鼓の演奏、おもちゃの病院、公園内に生息する野鳥や昆虫のパネル展を行った。その他工芸工房村の体験ブックレットや公園の野鳥や昆虫を紹介した「鳥・昆虫ミニ図鑑」を配布した。</p>
3	<p>利用促進方策</p> <p>③七夕フェスタの開催</p> <p>④カブトムシの配布</p> <p>⑤みやがせフェスタの開催</p>	<p>③6月16日～7月8日、来園者：4,500人 季節にちなんだイベントとして、短冊七夕飾りを利用者に描いてもらい七夕飾りを行った。 また、地域との連携及び公園のPRも兼ねて、公園近隣の保育園に協力を依頼して七夕飾りの作成した。</p> <p>④7月15日(日)、配布数：45組 刈草の堆肥を利用して、カブトムシを卵から育てて成虫にし、子供連れの利用者に無料配布し、自然豊かな公園及び環境に配慮した公園運営をアピールした。</p> <p>⑤9月23日(日)、来園者：1,500人 財団主催のイベントである「みやがせフェスタ2012夏の陣」を開催した。天候が良い場合は「つつじまつり」に次ぐ公園が賑わうイベントとなるが、当日は悪天候のため内容を縮小しての開催となった。</p>
4	<p>地域や関係機関と連携を図る</p> <p>①愛川町とのイベントの実施</p> <p>②町観光協会との連携</p>	<p>①5月20日(日)、来園者：700人 愛川町と連携し「あいかわりサイクルマーケットinあいかわ公園」を開催し、環境への配慮をアピールした。当日は天候も良く多くの利用があった。</p> <p>②9月 愛川町の地場産品及び観光案内を推進するため、工芸工房村内に設置されていた町観光協会の売店をパークセンター内に移設した。 公園の中心的施設であるパークセンターに移設したことで、多くの利用者へ愛川町の物産等を周知することができ、販売実績も上がった。</p>
5	<p>利用者への対応及び公報活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・接客の簡易マニュアルを作成して職員に配布し、毎日の朝礼で挨拶などの接客マナーの徹底を周知して利用者対応の向上を図っている。 ・利用者からの要望や苦情などのうち職員の対応が原因の場合は、朝礼時に所長から全職員に再発防止を指導し、設備面が原因の場合は厚木土木事務所と協議して改善を図っている。 ・ホームページを活用し、イベント予定や公園の紹介等を随時更新して積極的に利用者へPRしている。 ・革工芸教室や工芸工房村の月例イベントでは、参加者数の増加を図るため、作品のディスプレイを設置して来園者に内容が伝わり易いように工夫をしている。

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額			支出額	収支差額	
		指定管理料	利用料金	その他収入			収入合計
募集時の積算額 (参考)		120,191	—	4,401	124,592	124,592	0
予算額	前年度	114,598	—	28,070	142,668	142,668	0
	上半期	52,233	—	19,600	71,833	71,833	0
	下半期	62,365	—	8,470	70,835	70,835	0
	今年度	114,598	—	29,699	144,297	144,297	0
	上半期	52,233	—	21,539	73,772	73,772	0
	下半期	62,365	—	8,160	70,525	70,525	0
上半期実績額	4月	9,054	—	2,844	11,898	7,842	4,056
	5月	7,124	—	4,123	11,247	11,300	▲ 53
	6月	11,712	—	2,358	14,070	12,074	1,996
	7月	8,445	—	3,745	12,190	12,545	▲ 355
	8月	7,421	—	5,697	13,118	10,902	2,216
	9月	8,477	—	2,894	11,371	11,044	327
	今年度 上半期合計	52,233	—	21,661	73,894	65,707	8,187
	前年度 上半期合計	52,233	—	25,352	77,585	69,465	8,120
	対前年度上半期比				▲ 4.8%	▲ 5.4%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	経費節減のため清掃管理の業務委託を直営に変更したこと、その他、植物管理について植物の生育状況や作業効率を勘案して樹木剪定等の業務を下半期へ変更したことによる支出額の減少によるもの。
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	998	ふれあい広場の階段2箇所への手すりの設置等
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	62,423 人	41,946 人	48.8 %
5月	46,969 人	47,239 人	▲ 0.6 %
6月	28,825 人	29,536 人	▲ 2.4 %
7月	31,020 人	44,425 人	▲ 30.2 %
8月	41,151 人	51,061 人	▲ 19.4 %
9月	29,060 人	59,020 人	▲ 50.8 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	195,000 人	239,448 人	273,227 人	22.8 %	▲ 12.4 %
今年度下半期計	145,000 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	○	7月から9月の利用者数の減少の原因として、前年度は7月にテレビ放映であいかわ公園が紹介されたことにより、利用者数が大幅に増加したが、今年度は例年並みの利用者数だったためであると思われる。 また、9月23日の大規模イベント「みやがせフェスタ夏の陣」については、雨のため利用者数が前年に比べ大幅な減少があった。
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	47 (0)	47 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応	遊具監視員の対応で、遊具利用時間終了前に順番の列に並んでいた利用者が、遊具終了時刻直後に強引に利用の終了を告げられた。	公園所長から朝礼時に利用者 に配慮した対応の徹底について、全職員に指導した。
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
4月20日	職員がチップ機による作業中に指を負傷した。	病院へ搬送し、治療を行った。	職員の機械操作時の不注意が原因であると考えられるため、直ちに機械メーカーを呼び、関係職員に取扱い説明を行い、適切な操作方法の徹底による事故防止を図った。

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

あいかわ公園は、年間46万人が訪れる公園で、若い家族連れや宮ヶ瀬ダム施設見学と公園での工芸体験等を目的とする大型バスによる小学生等の来園者が多く、利用者は増加傾向にあるが、幼児から利用できる遊具の行き届いた安全管理が若い家族連れのリピーターを増加させている点や、40種4万本のつつじが咲く「花の斜面」の適切な管理により来園者から高い評価を得ている点、さらには愛川町、宮ヶ瀬ダム関係施設、地域団体等と連携したイベントを積極的に行い、伐採木を利用した工作体験など森林資源を有効活用したイベントや地元農協と連携した野菜販売などの工夫をしている点が特に評価できる。

今後ともこうした取組みを継続するとともに、地域と連携した魅力的なイベントの開催、効果的な情報発信をさらに工夫しつつ、県民が安心して憩うことができる、安全で魅力ある公園づくりを指導していく。